

# 八峰町自殺予防フォーラムを開催しました

11月14日、塙川小学校体育館において平成21年度八峰町自殺予防フォーラムを開催しました。会場には町民ら約150名が参加し、藤田貴子さんによるハーモニカ演奏で心を癒しました。その後、秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長の本橋豊氏が講演を行いました。地域の支え合いの大切さを理解し合いました。



町では、自殺者ゼロをめざして平成18年から予防事業を重点的に取り組み、自殺予防講座や交流サロンの開設、フォトコンテストや作文・俳句のコンクールを実施しています。このフォーラムは、町とこのころのふれあいサポーター「陽だまりの会」の主催で、今年で3回目の開催です。はじめに、佐々木副町長が「今、人口減少が続く中で、自然溢れるこのふるさとに生まれ育った町民が、一人でも無駄に命を失うことが無いように、地域でこころを繋いでいくことを考え合い、決意する場が今日のフォーラムです。」と挨拶しました。次に、日本ハーモニカ芸



術協会全国公認指導員師範の藤田貴子さん(能代市)によるハーモニカ演奏。思いをハーモニカにのせて行われました。「手のひらを太陽に」、「浜辺の歌」など全6曲を披露し、参加した町民の心を癒してくれました。続いて、秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長の本橋豊氏による「みんなを支え合う信頼のまちづくりを」と題した講演が行われました。講演では、これまでは高齢の方向けの対策は進んでいましたが、世界的な経済危機以降、失業や借金、将

来への不安、また人間関係などが自殺の原因となっていることから若者向けの対策が必要であることや今年の自殺者数が昨年を上回るペースであることが紹介されました。また、孤立の病と称される「うつ」については「住民が「うつ」の知識を持つことが大切」であること、自殺予防対策は、地域の支え合い、きずなづくり、助け合いの心が重要で「困った人に手を差し伸べることができる地域であってほしい」と地域づくりへのアドバイスをされました。最後に町民を代表し、米森マサ子さんが「八峰町自殺予防対策強化宣言」2009」を提案し、決定されました。



## 心と生命の俳句コンテスト入賞作品のうち、特選・特別賞の作品を紹介します。

- 秋田大学医学部長賞  
友だちと 心をつなぐ 天の川  
塙川小三年 川村裕美華
- 八峰町長賞  
夏の空 輝くあなたは 一番星  
八森中二年 小野 瑞歩
- 八峰町議会議長賞  
夕涼み 祖母と二人で 肩並べ  
峰浜中二年 武田 至織
- 八峰町教育長賞  
「おかえり」の 声にふりむく 茜空  
峰浜中三年 矢野 千帆
- 八峰町校長会長賞  
百人力 パバと二人で コンバイン  
塙川小二年 白鳥 わかな
- 特選  
おにやんま かつこいいけど にがさなきや  
八森小一年 堀内 真翔
- 心の花は 笑顔や元気が お水だよ  
八森小五年 小池 怜麗香
- 約束したよ 成長を  
塙川小六年 小沢 理夏
- 消えないで 前へ歩めと 蛍の灯  
峰浜中一年 鷺見 栞里
- 残暑の日 ささいな会話で つながる輪  
峰浜中三年 笹本 ひかる

### 「心と生命の俳句コンテスト選考に寄せて」

選考委員 柳川宣史(俳号・大亀)

コンテストには、小学生674点、中学生269点、一般8点の応募があり、どの作品も心と生命を大切にしたいという願いが伝わってくるすばらしい作品でした。

多くの作品の中から去る10月26日に行われた選考会において入賞作品を決定しました。

「心と生命を大切に」ということをテーマにして俳句作りをする。作文や標語とも違って、なかなかむずかしい取り組みであったことと思います。

このテーマを心の中に据えて作られた感心させられるいろいろな作品が寄せられました。

入賞に輝いた作品をよくよく味わい、胸の奥にじわりとうるおいを持っていただければありがたいと思っています。

### 八峰町自殺予防対策強化宣言～2009～

本日、塙川小学校において開催された「平成21年度八峰町自殺予防フォーラム」は、地域における自殺予防対策の一層の推進を図るために、「心と生命の俳句コンテスト」の表彰を行ない、「心と命を大切に」「いきる・つながる・地域のささえあい」をテーマとして、「みんなで支え合う信頼のまちづくりを」について、参加者が熱心に聴講しました。

町の健康増進計画「健康はっぼう21」にあるように、誰もが安心して健康的な生活を送ることができる「笑顔がこぼれるやすらぎのまち」の実現に向けて、こどもからおとなまで自殺予防対策にかかわるすべての人々、機関、団体等が、総合的な自殺予防対策を地域で推進するために積極的な行動を起こすことをここに宣言します。

平成21年11月14日

平成21年度八峰町自殺予防フォーラム